

# ただひろみ 多田 弘美氏 (高松高等予備校講師(地理))

## 多田弘美氏プロフィール

1941年香川県生まれ。東京教育大学理学部(地学科地理学専攻)卒。1964年香川県立高校教諭となる。高校山岳部の顧問を10年間務め、四国の山々を歩く。2002年退職後、主に香川県内の山を歩くと同時に三角点を訪ねて現在に至る。



## 功績概要

多田氏は、元高校教諭で、退職後2万5千分1地形図を持ちながら香川県内の山にある三角点のうち約260点を踏査した。高校山岳部顧問の経験もあり、三角点と2万5千分1地形図の重要性について理解されていることから、平成15年7月に高松市民登山学校の講師に就任した。参加者には、2万5千分1地形図の見方や三角点の役割などの説明を行い、測量・地図に関する普及・啓発活動に大きく貢献している。

また、三角点への到達ルートや現況など、三角点を巡る山歩きに必要な様々な地理情報を満載して執筆をした「ふるさとの山と三角点」が、平成17年10月に高松市図書館から発行され、県内の図書館や高松市内の高校などに無料配布されている。本書には、独自に探した安全で歩きやすい登山道や三角点の亡失等の情報もあり、地方測量部でも活用している。さらに、基準点測量、地形測量及び点の記などの分かりやすい説明もあり、測量・地図を身近にしている。

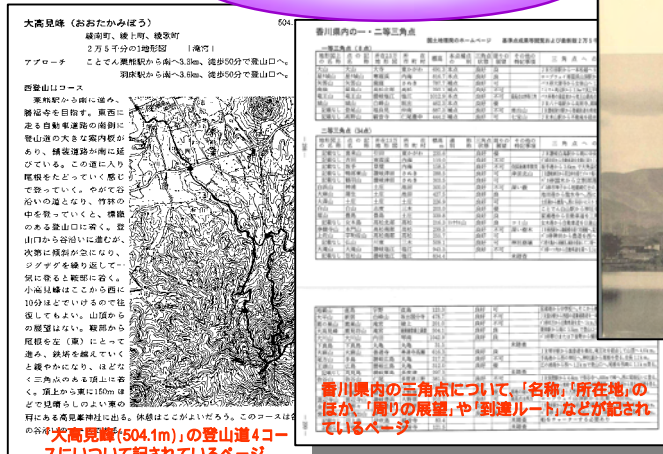
### 「ふるさとの山と三角点」

### 「ふるさとの山と三角点」より一部抜粋

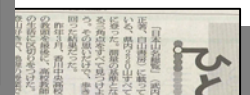
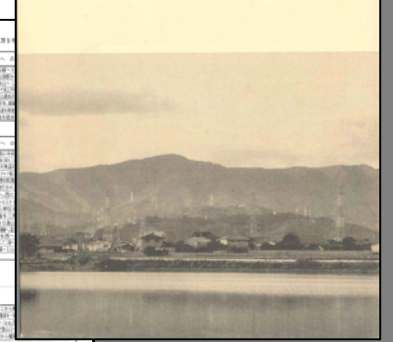
### ふるさとの山と三角点



「里山の登山道紹介」ふるさとの山と三角点」出版、が紹介された新聞記事  
—H18.3.23 付け朝日新聞—



香川県内の三角点について、「名称」、「所在地」のほか、「周りの展望」や「到達ルート」などが記されているページ



県内の三角点を踏査する多田さんが紹介された新聞記事  
—H15.5.21付け朝日新聞—



三角点の現況・亡失・到達ルート等を記した調査図(2万5千分1地形図)